

## 空家等実態調査について

### 1. 空家等実態調査について

#### (1) 調査概要

- ① 区内全域の建築物について、外観目視調査（一次調査、二次調査）により空家の抽出
- ② 抽出した空家の登記情報から建物所有者を確認し、アンケート調査（空家となった経緯や利活用の意向等）の実施
- ③ 調査結果を基に空家等データベースの作成

#### (2) 実施期間

- ・一次調査及び二次調査：平成28年10月11日～平成29年1月20日
- ・アンケート調査：平成29年2月3日～3月13日（3回に分けて実施）

#### (3) 調査結果（速報値）

別紙のとおり

### 2. 空家等実態調査結果の活用

空家等の利活用促進に向け、中野区空家等対策審議会における議論とともに、庁内関連部署による横断的な検討を行い、実態調査結果の活用の考え方について取りまとめる。

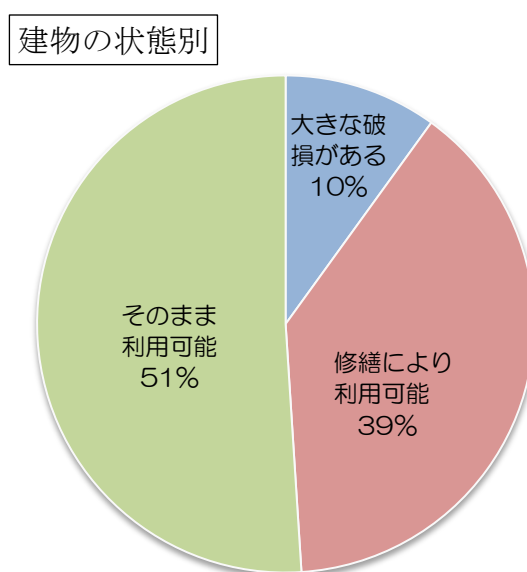
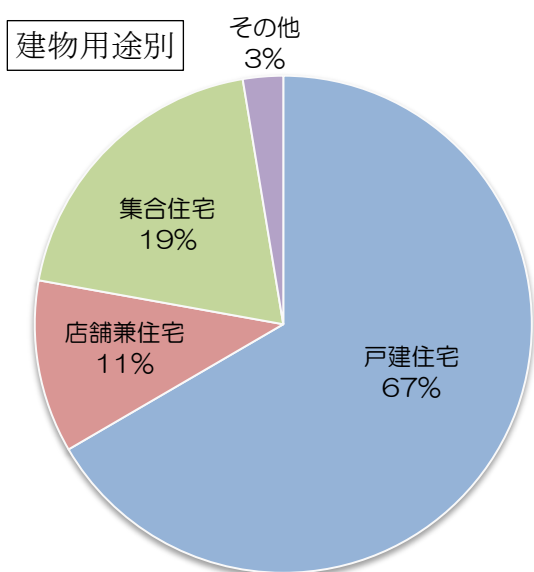
- ① 空家等の状況（立地、老朽度等）及び所有者意向等を基に、利活用の可能性や対策の緊急性について分類を行う。
- ② 子育て支援や高齢者向け施策において、空家等を活用した施設設置の可能性や課題を確認する。
- ③ 空家等情報の管理・運用のあり方について、国のガイドラインや空家等対策審議会の意見を踏まえながら、適切な取扱い基準を定める。

### 3. 今後の流れ

- 平成28年度末 ・空家等実態調査結果のとりまとめ
- 平成29年度 ・審議会による議論（2ヶ月間隔を目途に複数回開催）
  - ・審議会からの答申
  - ・「(仮称) 中野区空家等対策基本計画」(素案)の作成
  - ・意見交換会、パブリックコメント手続き
  - ・「(仮称) 中野区空家等対策基本計画」策定

空家等実態調査により抽出された空家総数		1,033 棟
建物用途別	戸建住宅	688
	店舗兼住宅	116
	集合住宅（大半が空き部屋）	202
	その他	27
建物構造別	木造	944
	非木造	89
建物階数別	平屋建て	123
	2階建て	860
	3階建て以上	50
建物接道状況別	接道していない	100
	接道している	933
建物の状態別	大きな破損がある	103
	修繕により利用可能	403
	そのままでも利用可能	527

※平成29年2月末時点での速報値。所有者アンケート集計の上で数値を確定する。



## 区内における空家等の分布状況（平成29年2月現在）

